

緑のボランティア通信

2012.8.1

No.21

花と緑で飾る 道の軸！鉄道の軸！川の軸・・・



「緑の景観づくり推進事業」の今



まちかどの素敵な景観5ヶ所を紹介します。これらは「萌える大地」の実行計画として平成16年度から「川崎市緑化重点事業計画」に基づき、市域を縦断する3つの軸（道路・河川・鉄道）を緑の骨格として据え、効果的な緑化施策を講じ市域の緑の景観作りに取り組んだものです。

特徴は市民や企業との良好な協力関係。ハード面の整備を行政が行い、日常の維持管理は地域の皆さんの手でスタートしました。当初は委託で行っていた作業も毎年春秋の植え替えを繰り返し経験していく中で熟度が増し、枯れ苗の撤去や土作り、花壇の整地等、今ではプロ顔負けの段取りのよさで全てを市民の手で行っています。天候や生育状況に応じ花がら摘みや水やり等、細やかな手入れを早朝や夕方の散歩がてら行うなど、身近な市民ならではの活躍です。写真は6月の植え替え時のもの、日頃の手入れの成果を訪ねてみてください。



王禅寺地域のみどりの軸線づくり(吹込)



ばら苑周辺のみどりの拠点づくり(長尾)



南武線・ニヶ領用水と一体となったみどりの軸線づくり(久地)



東名川崎 IC 周辺(北の玄関)のみどりの基点づくり(土橋)



事務所を中心としたみどりの軸線づくり(武蔵中原)



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目次

花と緑で飾る 道の軸！鉄道の軸！川の軸・・・	1
協会ニュース	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
ツリー・ウォッチング	4

実施中！

◆ チャレボラ2012

今年度、47プログラム、350人の募集に対し500人を超える小学生、中学生、高校生の応募がありました。抽選で参加者を決定し、7月21日(土)のオリエンテーションを皮切りに8月25日(土)のまとめと振り返り(修了式)まで、市内各地で多くの子ども達がボランティアを体験します。公園緑地協会企画の「汗して守ろう、かわさきの緑」への参加をきっかけに、緑に関心を寄せ、緑を守るボランティアの活動があることを知ってもらえたらと思います。



* チャレボラ 2011(昨年)の様子 *

参加者募集！

◆ こども黄緑クラブ 秋編 講師：高柳芳恵（福音館書店発行「ゆうぐれのさんぽ」著者）

日時：10月4日(木) 会場：川崎市緑化センター 対象：1才半以上の幼児とその保護者20組(40人)

申込方法：往復はがきに〒・住所・電話番号・お子様の年齢・名前・保護者名を明記し、9月20日(木)必着で公園緑地協会「こども黄緑クラブ」係まで送付してください。定員を超えた場合は抽選。満たない場合は前日まで受け付けます。



* こども黄緑クラブ 春(6月)の様子 *

◆ 花と緑の交流会2012 予告・・・講演会講師が「柳生博さん」に決定しました！

日時：25年1月26日(土) 会場：高津市民館大ホール他

市内で花壇づくりや里山管理、公園整備等に関わる団体が、日頃の活動を広く市民に発表するとともに交流を図ることを目的に実施されている交流会ですが、平成22年度からは市民による企画運営が進められています。今年度も実行委員会が開催され準備が進められています。講演の他に市内中学校の吹奏楽の演奏や団体のパネルセッション等予定されています。参加団体を募集中ですので詳しくはお問い合わせください。



千代ヶ丘自治会公園花の会 (1998年設立)

活動場所 千代ヶ丘第1公園(麻生区千代ヶ丘6-10-15)第2公園・第3公園
交通案内 小田急線「新百合ヶ丘駅」より 小田急バス千代ヶ丘行「千代ヶ丘」下車徒歩2分



花の会は、平成10年に自治会員より寄付を募り発足しました。以後、自治会からの援助をはじめ、「公園管理運営協議会」や「緑の活動団体」にも登録しましたので、区道路公園センターや公園緑地協会の補助金を受け活動を続けています。当初は第1公園、第2公園の整備でしたが、平成22年には第3公園も自治会に編入し管理をしています。中心のメンバーは会長以下6名ですが、作業には小学生や中学生が応援に来てくれます。3つの公園には、いずれも春夏秋冬と季節の花を会員が協力して植えています。きれいな花を植えた公園に花が育つのが楽しみです、通行人がほめてくれるのが嬉しいです。高木は行政にお任せし、ツツジ等の刈り込みは業者に依頼しております。公園の美化、こどもの遊び場、近隣の憩いの場、そして避難場所として管理していますが、毎回2～3時間の作業で大変です。特に秋の落葉は厳しく、会員が少ないのが悩みですが、皆よくがんばってくれるので多に感謝しています。8月末に自治会回覧板で広く参加者を募りアジサイの剪定講習をします。多くの手で手入れが出来、これをきっかけにメンバーに加わってくれる方もいるかと思いにしています。

(中島 厳)

はぐくみの里ヒマワリ有志団体 (旧はくくみ有志団体・大島1丁目老人花班) (2007年設立)

活動場所 富士見公園 南側ひまわり花壇(川崎市富士見1-1-6)
交通案内 JR「川崎駅」東口より徒歩15分 川崎労働会館(サンピア川崎)横

ここは、戦前から池があり木々のある緑豊かなところでしたが、その後も池を工場残土で埋め、樹木を増やして富士見公園の一角の緑の多い憩いのスペースとなっていました。しかし、いつの頃からか環境と防犯的に悪いイメージが定着し、市民からの苦情も多く聞かれるようになったため、平成18年に富士見公園の再生プロジェクトにより、多目的球場、児童公園、コミュニティガーデンの三つの機能を有する場所に生まれ変わりました。



そのコミュニティガーデンが公募により「はぐくみの里」と名付けられ市民の活躍の場となり、四季折々の花とハーブ花壇の花班、無農薬野菜の畑班、田んぼ班の三班でスタートしました。現在ハーブを分離して四つの班で活動しており、春の花まつりでは花の定植や種まき、じゃがいもの植え付け、田植え等が体験できます。また、秋の収穫祭ではここで収穫された物を主にしたトン汁やハーブティ、鉢植え、切り花、田んぼで収穫したお米(富士見米)の販売やさつまいも掘りが人気となっています。現在、活動者を募集しておりますので、興味がある方はぜひ一度ご参加ください。



平成19年8月には、富士見公園南側の14花壇を「はぐくみの里」の花班有志で開墾し3メートル近いヒマワリの花を咲かせてきましたが、今年、川崎区区制40周年にあたり、区の花が「ヒマワリとビオラ」に決まりましたので、さらに7か所の花壇を開墾して増設し、春の花まつりに参加した子どもたちや市民と一緒に種を蒔きました。芽が出て順調に育っていますので、夏には「はぐくみの里」のまわりは見事なヒマワリが一面に咲き誇っていることでしょう。ちなみに11月にはビオラ一色に飾られる計画です。

(峠館 毅)





街路樹で発見!“楓”は、本当は“カエデ”ではなかった!?



街路樹などに植えられている、“フウ”や“モミジバフウ”ですが、意外と“カエデ”だと思っている人が多いのでは?? 実は、昔から良く間違えられていたようで、本来の中国名で“楓”とは、カエデのことではなく、“フウ(フウノキ)”を指す文字なのだそうですよ。

No. 14 もみじ葉楓(モミジバフウ)の街路樹

ここは新百合ヶ丘駅北側の『新百合山手中央道り』にある見事なモミジバフウの街路樹。

楓(フウ)は中国原産ですが、このモミジバフウは北アメリカ原産。共に、茎の節に葉が1枚ずつ付く、《互生》という葉のつき方。実も栗の毬(イガ)の様な形のピンポン玉くらいの物になり、カエデとの違いがよく分かります。そして、モミジバフウも紅葉が美しいですよ。

新百合ヶ丘駅周辺

住 所 麻生区万福寺周辺
交通案内 小田急線「新百合ヶ丘駅」より



モミジバフウ
【フウ科(旧マンサク科)】の果実

モミジバフウの
葉のつき方《互生》



No. 15 唐楓(トウカエデ)の街路樹

ここ鷺沼駅の周辺では、こうしたトウカエデ(中国原産)の街路樹が数カ所で見られます(写真は土橋3丁目付近)。

カエデの仲間、茎の節に葉が2枚ずつ付く、《対生》という葉のつき方が基本です。実も“八の字”型の翼の付いた物になります。もちろん、紅葉も美しいですよ。

鷺沼駅周辺

住 所 宮前区鷺沼・土橋周辺
交通案内 東急田園都市線「鷺沼駅」より



トウカエデの
葉のつき方《対生》



トウカエデ
【ムクロジ科(旧カエデ科)】の果実

このコーナーでは、川崎市内の銘木・珍木・希少木の情報を募集します。
あなたのご近所の“地名の由来にもなった銘木”や“巨樹”、“珍しい花が咲く木”、“変わった風景の木”、“調べてほしい不思議な木”などの情報をお寄せください。取材して、このコーナーで紹介いたします。